

令和5年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進実施計画書

尾道市立美木原小学校 校長 神原 芳則

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

自ら学び、考え、発信する 子供の育成

スクールミッション

小中連携教育を核とした確かな学力定着の取組の充実と発展

目指す児童生徒像

- ◆自ら課題を発見し探究的に学ぶ子供
- ◆自分の考えを自分の言葉で発信する子供

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

考える、伝え合う力の育成

～フレームリーディングを活用した国語科の授業づくり～

(2) 研究主題の設定理由

本校は、開校7年目を迎え、開校から学校図書館教育を中心とした「調べる」「まとめる」「伝える」力を育成する授業づくりを行ってきた。図書資料を有効に活用して調べ学習をしたり、さらに興味を広げたりして課題解決学習につなげることができた。また、NIEにも積極的に取り組み、新聞を活用した授業やNIEタイムによる新聞に親しむ活動を展開してきた。4年前からは、全教科を通して、考える手段として「思考ツール」を活用する授業を行い、思考を視覚化、言語化した。さらに、2年前からは、読みの手法である「フレームリーディング」を用いた授業づくりを行ってきた。文章全体の構成や概要を捉え、主要となる場面や段落から全体のつながりを理解し、再度、文章全体を捉え直し自分の考えを表現した。

これらの取組により、昨年度の国語科の読みの観点における単元末テスト、読解力活用テストの校内平均正答率が、全ての学期で全国平均正答率を上回った。

しかし、標準学力調査では、国語科においては、ほとんどの学年で全国平均を下回った。(図1)

課題を分析すると、情報と情報との関係について理解し、整理すること、問題の条件に合わせて自分の考えをまとめること、表現すること、また、読む速さや書く速さなど多岐にわたる。その中でも特に、条件に従って、自分の思いや考えが明確になるように文章を書くことに関して大きな課題があることが分かった。

そこで、「美木中学校校区において15歳で目指す子供の姿」として、「情報を適切に活用することができる」「自分を表現することができる」「人やものをつながっていく」の3つを中核に据え、小中が連携して、児童の育成を図っていく。

以上のことから、今年度は、つけたい資質・能力を以下のように再構成した。

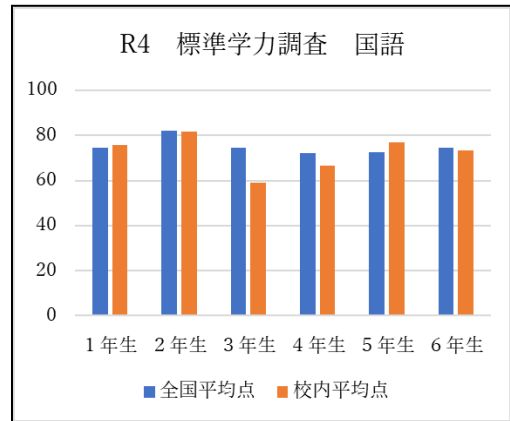


図 1

つけたい資質・能力		目指す姿
コミュニケーション力	知識・技能	○相手の伝えたい内容や考えを受け止めたり、理解したりすることができる。
	思考力・判断力・表現力	○相手の状況や環境を判断し、適切な言葉を用いて関わることができる。
	学びに向かう力・人間性等	○自分から積極的に、相手に関わろうとする。
情報活用力	知識・技能	○情報と情報の関係とその表し方を理解し、使うことができる。
	思考力・判断力・表現力	○情報手段を適切に使って情報を得ることができる。 ○複数の情報を整理、比較して考えることができる。
	学びに向かう力・人間性等	○知り得た情報を活用して、学習に主体的に参画しようとする。
表現力	知識・技能	○習得した言葉や考え方を適切に用いることができる。
	思考力・判断力・表現力	○場面や状況に合わせて、表現方法や内容を工夫し、適切に表現することができる。
	学びに向かう力・人間性等	○自分の考えや思いが相手に伝わるように最後まで粘り強く取り組もうとする。

これらのことを踏まえ、今年度の研究主題を「考える、伝え合う力の育成」、副題を「フレームリーディングを活用した国語科の授業づくり」と設定した。昨年度まで実践してきた様々な取組を継続して行うとともに、国語科ではフレームリーディングの指導法をさらに練磨し、学年に応じてフレームを積み重ね、文章構成や内容を捉える力を育成していきたい。その上で、自分の考えを持ち、人との関わりの中で伝え合う力を高め、広げることができる児童を育成していきたい。

(3) 研究のねらい

「考える、伝え合う」活動を通じて、課題解決のための情報を収集・分析・選択・整理し、自分の考えを適切な言葉を用いて表現するとともに、互いの考えを受け入れ、情報を共有し、より深く学ぶことができるよう、コミュニケーション力や情報活用力、表現力を育成する。

(4) 研究仮説

「考える，伝え合う」の活動において，これまでの学習で習得したフレーム（目のつけどころ）を用いて，各自が自分なりの文章の見え方，捉え方で文章を読み取り，交流することで，新たなフレームの獲得となり，読解力の向上へとつながるだろう。

(5) 研究内容（研究の方向）

- ①フレームリーディングによる「読むこと」の指導
 - フレームを捉えて文章を読む。
 - 読みで身に付けたフレームを活用し，物事を考えるフレームにつなげる。
- ②多面的な考え方の形成につながる交流場面の設定
 - 自分なりに捉えたフレームを用いて，互いに伝え合う。
 - 適切な思考ツールを活用して，情報や考えを共有し，整理・分析する。

(6) 検証の指標

- ①②児童の読解力が向上したか。

(7) 到達目標

検証の指標	目標項目	1 学期	2 学期	3 学期
①	国語科学期末テスト・活用テスト （思判表の観点）通過率 各学年全国平均以上	全国平均 以上	全国平均 以上	全国平均 以上
②	国語科標準学力調査通過率 各学年全国平均以上			全国平均 以上

4 指導・助言者

氏 名	所属・職名等	備 考
桑田 晶子様	「ことば」の教育研究会代表	

5 研究計画

日程	研 究 内 容	講 師
4 月 1 1 日(火)	NIE タイムの取組確認	NIE 担当
4 月 1 8 日(火)	全国学力・学習状況調査	6 年
4 月 1 9 日(水)	全国学テ採点・分析（国語・算数）	研究部・6 年
4 月 2 8 日(金)	フレームリーディング研修①（理論・演習）	研究部
5 月 1 6 日(月)	フレームリーディング研修② （示範授業 5 年・理論・演習）	桑田先生

6月 6日(火)	授業研① (シミュレーション)	
6月 15日(木)	授業研① (授業) 4年	桑田先生
7月 14日(金)	1学期の到達目標集計	研究部
7月 24日(月) ～7月 28日(金)	道徳参観日へ向けて指導案作成・起案・ 修正・完成	道徳担当
7月 25日(火)	フレームリーディング研修③ (理論)	研究部
8月 1日(火) ～8月 8日(火)	今後の授業へ向けての指導案作成 (担当者)	
8月 21日(月)	指導案検討・起案	
8月 28日(月)	指導案修正・浄書・完成	
8月 9日(水)	授業研究② (シミュレーション)	
9月 11日(月)	授業研究② (授業) 3年・5年	桑田先生
10月 19日(木)	授業研究③ (教育相談) 3学級 ・知的障害特別支援学級 ・自閉症・情緒障害特別支援学級	尾道特別支援学校 新田先生
10月 25日(水)	公開授業実施計画作成・起案・役割分担	研究部
11月 1日(水)	道徳参観日・地域貢献作業	道徳担当
11月 9日(木)	公開授業指導案製本・発送	
11月 16日(木)	授業研究④公開研究会模擬授業	
11月 22日(水)	授業研究④ (公開授業) 2年・6年	桑田先生 尾道市教委
12月 12日(火)	学力定着実態調査	全学年
12月 19日(火)	2学期の到達目標集計	研究部
1月 19日(金)	授業研究⑤ (シミュレーション)	
1月 25日(木)	授業研究⑤ (授業) 1年	桑田先生
2月 1日(木)	学力テスト分析・取組シート作成	全学年
2月 29日(木)	フレームリーディングアンケート実施	全学年
3月 5日(火)	3学期の到達目標集計	
3月 7日 (木)	フレームリーディング研修④アンケート 分析・今年度の研究反省・次年度への取 組計画	

別紙様式 1

令和5年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進予算計画書

尾道市立美木原小学校 校長 神原芳則

費 目		金 額	明 細
節	細 節		
報 償 費	講師報償費	① 8,100円	①「ことば」の教育研究会 桑田 晶子先生(5月) 2,700円×3時間= 8,100円
		② 10,800円	②同(6月) 2,700円×4時間=10,800円
		③ 10,800円	③同(9月) 2,700円×4時間=10,800円
		④ 10,800円	④同(11月) 2,700円×4時間=10,800円
		⑤ 10,800円	⑤同(1月) 2,700円×4時間=10,800円
		報償費小計	51,300円
	旅 費	講師旅費	①2,620円
②2,620円			②同(6月) 2,620円
③2,620円			③同(9月) 2,620円
④2,620円			④同(11月) 2,620円
⑤2,620円			⑤同(1月) 2,620円
視察旅費			
旅費小計		13,100円	
合 計		64,400円	

※報償費、旅費合わせて7万円以内の予算内で計上してください。